

平成31年度 大阪府行政経営の取組みについて

平成31年2月
行政経営課

- 行財政改革推進プラン(案)(平成27～29年度)終了後も、「自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立」に向けた改革の取組みを継続するため
 - ①府のみならず、府民・企業・市町村・国など、社会全体で課題解決する「新たな行政経営の取組み」や、
 - ②行財政改革の取組みによる「健全で規律ある行財政運営」について、毎年度の府の取組みをとりまとめた。
- 行動指針として、『【発見】多様な「知」と交わる』、『【選択】多様なプレーヤーを束ね、より良い道筋を見出す』、『【実践】「やってみよう」の精神をもち、果敢に挑戦する』を掲げ、以下の取組みを推進する。

新たな行政経営の取組み

■ 社会課題に挑戦し続ける活力ある組織づくり

企業等との知の交流

- 多様な企業との対話によるアイデア収集・市場ニーズ把握
・ サウンディング型市場調査
- 社会課題解決ビジネスについての情報共有、連携・協力
(セミナー・交流会などの民間によるアイデア提案の場の活用 等)
- 民間人材の受入拡大

新技術等を活用した生産性の向上・府民サービスの充実

- AI・RPAの活用による業務の効率化
・ 音声認識技術(AI)による議事録作成支援
・ RPAによる単純な繰り返し作業の自動化
- IoTを活用した社会課題解決
・ 高齢者見守りサービスの実証実験
- データ分析に基づいた広報や政策立案
- SNS・アプリをはじめとする新たなツールを活用した府民サービスの向上
・ LINEを活用した教育相談
・ アプリを活用した防災意識の向上
・ 広告付案内表示板の設置
・ 府営住宅駐車場の空き区画への民間予約駐車場サービスの導入

働き方改革

- 職員の多様な働き方の支援・促進(テレワークの推進 等)
- 職員の意識啓発・庁内機運の醸成(働き方改革・ITセミナーの開催、ニュースレターの発信 等)

■ 社会課題解決につながる共創の仕組みづくり

新たな連携の追求

- 公民連携の推進
 - インターネットテレビやSNS等による多様な広報の推進
(OSAKA愛鑑(おおさかめいかん)の取組み)
 - 複数企業・大学との連携と協働(創発ダイアログの実施)
 - 社会課題の解決につながるビジネスの創出・成長支援
 - 企業や市町村と連携した社会課題解決の取組み
・ 近未来技術等社会実装事業(自動運転を活用した移動サービスの事業化)
・ 府営住宅の空室活用(小規模保育事業所の設置 等)
 - 個人の専門知識を生かした課題解決
・ プロボノによる団体・NPOへの伴走型支援
- 民間投資を誘導する仕組みづくり(クラウドファンディング、ソーシャル・インパクトボンド(SIB)の活用 等)

【創発ダイアログとは】

公民連携で解決すべき行政課題をテーマに設定し、複数の事業者(公・民)間による「対話」から様々なアイデアを生み出す公民連携の新たな仕組み
↓
今まで…企業等と府の1対1の取組み
↓
今後…今までの取組みに加え、複数の事業者を巻き込んだ新たな取組みを推進



民間の活躍環境の整備

- 企業等への実証フィールドの提供
・ 実証事業検討チーム(大阪府、大阪市、大阪商工会議所)による実証事業の支援
・ ドローンを用いたインフラ等点検の効率化



ドローンを用いた点検

大阪城公園をフィールドとした実証を支援

豊屋川水系の地下施設をフィールドとした実証を支援



超小型電動モビリティ用ワイヤレス充電システム(イメージ)

- 規制緩和を通じた事業創造

健全で規律ある行財政運営

- 組織運営体制
- 財政運営
- 出資法人等の改革
- 公の施設の改革